発行 ： 2008年7月

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定（変額保険用） 月次運用報告書（2008年6月）

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
２００８年６月における特別勘定（変額保険用）の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス　http://www.axa.co.jp/life/

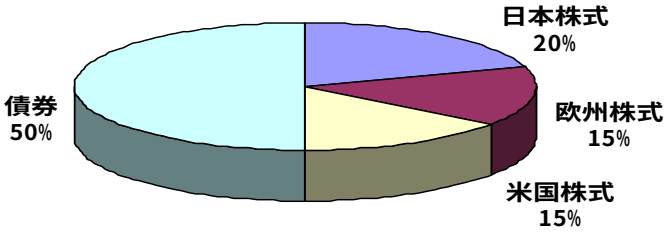
特別勘定の運用方針

■ 日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。
■ 基本的な資産配分は、株式５０％程度、債券５０％程度とします。
■ 特別勘定の運用は、各投資信託（ファンド）の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。
■ 特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社（運用協力会社）の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。
■ 各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

（グローバルミックスの資産配分比率）



＊上記は設定当初の資産配分比率です。
＊資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社（ファンドの運用会社）のご紹介

■アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。１９８７年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

運用環境について(2008年6月)

【日本株式市場】

■ 日本株式市場の主要株価指数の当月末終値は、日経平均が▲5.98%の13,481円38銭、TOPIXが▲6.25%の1,320.10ポイントとなりました。月初は、前月の堅調な地合いを引き継ぎ、円安を受けた輸出企業への買いで、6日には日経平均で14,601円27銭まで上昇しました。しかし、その後月末にかけては、サブプライムローン関連の証券化商品の信用を支えたモノライン（金融保証会社）の格下げによる金融不安再燃や、原油価格急騰によるインフレ懸念などで景気先行き不透明感が強まる中、日本株式市場は下落基調となり月間最安値（終値ベース）で引けました。
中小型市場は、中堅不動産業者の破綻や不動産市況見通しの悪化から中小不動産業全般が売られる展開となりましたが、全般的にはTOPIXに比べ割安株中心に下げ渋りの動きも見られました。東証2部および日経ジャスダック平均は、それぞれ▲4.50%と▲2.11%となっています。
■ 需給面では、外国人投資家が12週連続で買い越しを続けているほか、事業法人、個人も買い越しとなりました。一方、売り越しは信託銀行、投資信託となりました。

【米国株式市場】

■ 米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は▲8.60%、ダウ平均株価は▲10.19%、ナスダック指数は▲9.10%となりました。（いずれも現地通貨ベース）。
■ 月初は、発表された失業率が大幅に悪化したことや、WTI原油先物価格が1バレル=140米ドル台を突破するなど、商品価格が続騰し、世界的にインフレ懸念が高まったことなどにより、下落しました。その後も、金融機関における損失拡大懸念が再度台頭したことや、企業から発表された今期業績見通しが市場の予想を下回っていたことなどから、米国株式市場は売り優勢となりました。月末にかけても、モノラインの格下げ、燃料コストの上昇、米国景気の減速を受けて運送業大手が業績予想を下方修正するといった金融機関以外の懸念材料も見られ、月末にかけて大きく下落を続けました。
■ 政策金利については、連邦公開市場委員会（FOMC）は2.00%で据え置きました。

【欧州株式市場】

■ 欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は▲9.96%、英FT100指数は▲7.06%、仏CAC指数は▲11.56%、独DAX指数は▲9.56%となりました（いずれも現地通貨ベース）。
■ 月初は、米国景気に対する懸念の高まりや、原油および金価格の上昇による世界的な物価上昇などから、欧州株式市場は軟調な展開となりました。業種別では、価格の上昇を背景に石油、素材セクターなどが買われた一方、金融セクターは大きく下落しました。月末に公表されたユーロ圏の消費者物価指数が高いことから欧州中央銀行（ECB）がこれに対応して政策金利を引き上げる姿勢を見せたことは悪材料となりました。また、英国の住宅市況も以前と比較して悪化したことも、欧州株式市場の下落を加速させることとなりました。

【国内債券市場】

■ 国内債券市場は、月初は、欧州中央銀行（ECB）のトリシェ総裁の7月中の利上げの可能性の示唆や、米連邦準備制度理事会（FRB）高官によるドル安牽制等、タカ派的な発言から、主要国でのインフレ警戒色が強まったとの理解が進み、前月に引き続き、金利は上昇（債券価格は下落）傾向となりました。国内債券市場は、利上げ観測が強まり、10年国債利回りは1.9%手前まで上昇しました。しかしながら、月末にかけては、米国での早期利上げを否定する報道や米国金融機関の追加損失懸念の再燃、また、国内景況感の悪化と日本株式市場の下落を受け、金利は低下（債券価格は上昇）に転じました。10年国債利回りは、1.6%の水準まで低下し月末を迎えました。

《参考指標》

		2008年5月末	2008年6月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,408.14 ポイント	1,320.10 ポイント	-6.25%
	日経平均	14,338.54 円	13,481.38 円	-5.98%
	新発10年国債	1.740 %	1.610 %	0.130低下
米国	NYダウ	12,638.32 ドル	11,350.01 ドル	-10.19%
	S&P500	1,400.38 ポイント	1,280.00 ポイント	-8.60%
	NASDAQ	2,522.66 ポイント	2,292.98 ポイント	-9.10%
	10年国債	4.060 %	3.969 %	0.091低下
欧州	FT100	6,053.50 ポイント	5,625.90 ポイント	-7.06%
	CAC40	5,014.28 ポイント	4,434.85 ポイント	-11.56%
	DAX	7,096.79 ポイント	6,418.32 ポイント	-9.56%
	独10年国債	4.405 %	4.621 %	0.216上昇
為替	米ドル/円レート	105.75 円	106.42 円	0.63%円安
	ユーロ/円レート	164.09 円	168.07 円	2.43%円安

＊各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利（日本）、ジェネリック米国利回り10年（米国）、ドイツ国債10年の利回り（欧州）を表示しております。
＊為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1−17−3 TEL 03-6737-7777（代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について（2008年6月）

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のＩＮＤＥＸ」とは、弊社が変額保険「Ｇｌｏｂａｌ Ｍｉｘ」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。

日付	INDEX
07/07/31	1.007
07/08/31	0.993
07/09/30	1.007
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927

【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-3.39%	-5.24%	-9.51%	-2.60%	5.40%	-7.31%

注）設定日である２０００年８月１日を１．００としたパフォーマンスを示しています。
注）騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。
注）上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。
注）この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

項目	金額（千円）	構成比（%）
預貯金・コールローン	741,371	2.1
日本株式型投資信託①（アクサＲ）	3,456,322	9.6
日本株式型投資信託②（アクサＲ）	5,189,225	14.4
米国株式型投資信託（アクサＲ）	5,085,094	14.1
欧州株式型投資信託（アクサＲ）	3,271,344	9.1
日本債券型投資信託（アクサＲ）	17,823,567	49.3
その他	564,866	1.6
特別勘定合計	36,131,791	100.0

注）金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っておりません。

【保有契約高】

項目	件数（件）	金額（千円）
有期型	1,103	2,545,643
終身型	55,297	296,221,132
合計	56,400	298,766,775

注）金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

■ 当特別勘定は原則として、５０％を安全資産での運用にしております。
■ 積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の２５％、欧米株式で２５％の資産配分といたします。
■ リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとでの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

■ 特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

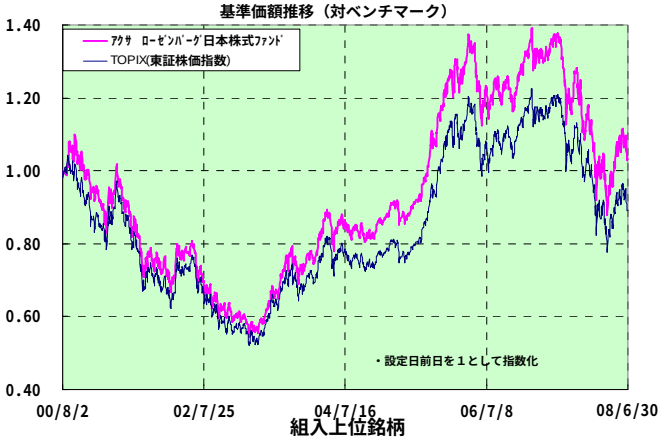
（アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム）

日本株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。「アクサ　ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：　TOPIX

基準価額推移（対ベンチマーク）



【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが▲6.25%であったのに対し、当ファンドは、▲6.07%となりました。
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことがプラスに寄与しました。
業種別では、相対的に下落した不動産、その他金融、メディアなどをベンチマークに比較して少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、相対的に下落した住友不動産（8830）やHOYA（7741）を保有していなかったことや、大和ハウス工業（1925）をベンチマークに比較して少なめに保有していたことなどはいずれもプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本株式運用チーム）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
2	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.1%
4	三菱商事	卸売業	1.8%
5	任天堂	その他製品	1.8%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.8%
7	キヤノン	電気機器	1.8%
8	本田技研工業	輸送用機器	1.6%
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
10	新日本製鐵	鉄鋼	1.4%
合計			20.9%
組入銘柄数			455銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。「アクサ　ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：　TOPIX

基準価額推移（対ベンチマーク）

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが▲6.25%であったのに対し、当ファンドは、▲6.02%となりました。
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことがプラスに寄与しました。
業種別では、相対的に下落した不動産やその他金融をベンチマークに比較して少なめに保有していたことや、相対的に上昇した石油を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇した東海旅客鉄道（9022）、国際石油開発帝石ホールディングス（1605）や日本電信電話（9432）などをベンチマークに比較して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本株式運用チーム）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	三菱商事	卸売業	3.5%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.3%
3	三井物産	卸売業	2.9%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
5	日立製作所	電気機器	2.7%
6	ジェイ　エフ　イー　ホールディングス	鉄鋼	2.7%
7	東芝	電気機器	2.6%
8	国際石油開発帝石ホールディングス	鉱業	2.6%
9	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	2.3%
10	富士通	電気機器	2.3%
合計			27.7%
組入銘柄数			372銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

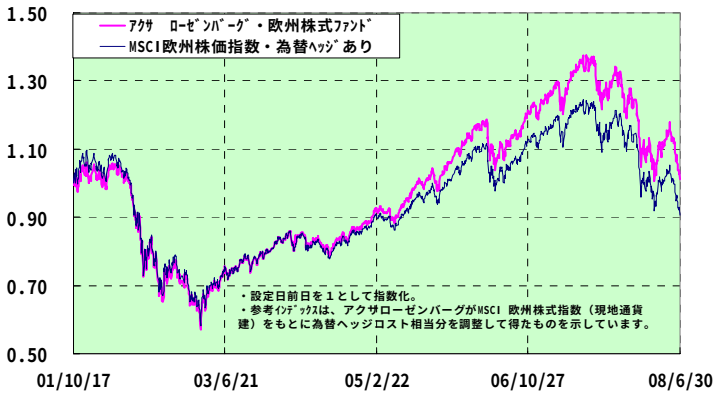
注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価して います。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

欧州株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　幅広い投資対象（欧州約3,500社が対象）を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
「アクサ　ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。
[ベンチマーク]：　MSCI 欧州株式指数（為替ヘッジあり）

基準価額推移（対ベンチマーク）



【運用状況】
当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が▲10.67%であったのに対し、当ファンドは▲11.11%となりました。
当月の欧州株式市場は、高配当利回り銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドでは、これらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことは、マイナスに寄与しました。
業種別では、下落した紙・パルプや自動車をベンチマークに比較して多めに保有していたことや、上昇した薬品を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇した薬品銘柄のエラン・コーポレーション（アイルランド）を保有していなかったことや、下落した保険のアイリッシュ・ライフ・アンド・パーマネント（アイルランド）や銀行のデクシア（ベルギー）をベンチマークに比較して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】
当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	3.0%
2	トタル SA	エネルギー	2.8%
3	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	2.1%
4	ENI SPA	エネルギー	1.8%
5	HSBC ホールディングス PLC	銀行	1.8%
6	ネスレ	食品・飲料・タバコ	1.6%
7	アングロ・アメリカン PLC	素材	1.6%
8	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-B SHS	エネルギー	1.5%
9	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	1.5%
10	アリアンツ	保険	1.4%
合計			19.1%
組入銘柄数			303銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

米国株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　幅広い投資対象（米国約6,500社が対象）を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
「アクサ　ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。
[ベンチマーク]：　S＆P500（為替ヘッジあり）

基準価額推移（対ベンチマーク）

【運用状況】
当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が▲8.72%であったのに対し、当ファンドは▲7.88%となりました。
当月の米国株式市場は、前月上昇していた銘柄が、当月も引き続き上昇する傾向にあり、当ファンドでは、これらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことは、プラスに寄与しました。
業種別では、上昇した石油サービス、石油メジャー、石油をベンチマークに比較して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇したエネルギーのシュルンベルジェ、ナショナル・オイルウエル・バーコINC、アパッチなどをベンチマークに比較して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】
当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	エクソン・モービル	エネルギー	4.7%
2	シェブロン	エネルギー	2.3%
3	IBM	テクノロジー製品・機器	2.1%
4	アップルINC	テクノロジー製品・機器	2.0%
5	ゼネラル・エレクトリック	資本財	1.9%
6	コノコフィリップス	エネルギー	1.8%
7	シュルンベルジェ	エネルギー	1.8%
8	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.6%
9	AT&T INC	電気通信サービス	1.4%
10	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー	1.4%
合計			21.0%
組入銘柄数			295銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

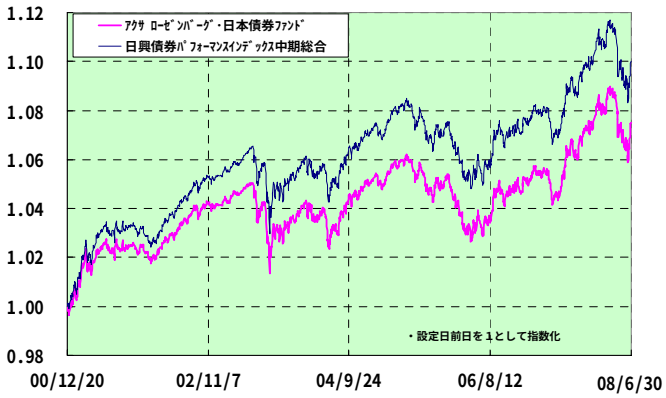
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

日本債券ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ　ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：日興債券ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ中期総合

基準価額推移（対ベンチマーク）



【運用状況】
当月の当ファンドは+0.89%となり、ベンチマークは+0.87%となりました。
中長期的な観点では、景気、物価情勢は概ね日銀の展望に沿う形で推移してきたと言えるものの、消費関連指標に力強さは見られず、足もとの指標が示すように日本経済の方向性の不透明感が高まっています。米国景気後退懸念が更に強まり、国内景気減速懸念も強まりを見せる中、更なる金利低下余地は限定的であるものの、金利が上昇する可能性は低いとの判断を維持しました。前月初旬より保持していた、イールドカーブのフラットニング（平坦化）ポジションを、ある程度フラットニングが進行したとの判断から、月中に中立に戻しました。また上旬に、前月からタイミングを探っていたデュレーションの長期化を小幅ながら行い、月後半まで保持し、その後、中立に戻しました。これらの投資行動はパフォーマンスに対して小幅にプラス要因となりました。また、社債等の対国債利回り較差は月央までは引き続き急拡大したものの、その後、金融システム不安が多少払拭されたのを受け、急激に縮小したことから、結果的に社債等の保有がパフォーマンスへプラス寄与となり、対ベンチマークでプラスのパフォーマンスとなりました。

【今後の運用方針】
中長期的な観点では、景気、物価動向は概ね日銀の展望に沿った形で推移していると言えます。しかし、外的要因としての米国サブプライムローン問題の波及等、依然として不確実要素が色濃く残り、日銀は以前にも増して、それらの点について詳細に点検を行う必要があると考え、政策金利の据え置きが続いています。米国が利下げを行うなど、依然として海外からもたらされる不確実性を強く意識しなければならない環境が継続しており、国内景気への配慮も必要となる状況です。当面は、米サブプライムローン問題の波及やそれに伴う金融システム不安、及び国内景気への影響を十分に配慮しながらの舵取りを強いられるだけでなく、閉塞感が強まっている国内景気への配慮も鑑みての金融政策が必要となっています。金融緩和期待の声も聞かれるなど、不確実性の高まりは金利の振れ幅拡大につながる可能性が高いことから、その点を注視して運用を行う必要があると思われます。当面は、国内要因のみならず外的要因の影響についても大いに注視をして行く方針です。
（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本債券運用チーム）

信託財産の構成

	組入比率	ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ
公社債	99.6%	4.38年
短期資産等*	0.4%	30.39年
合計	100.0%	4.49年

* 債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ
国債	81.4%	4.69年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	3.7%	3.36年
金融債	0.5%	1.97年
社債等	14.0%	2.91年
コールローンその他*	0.4%	30.39年
合計	100.0%	4.49年

* 債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	4.7%
AA	89.7%
A	4.7%
BBB	0.9%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

** S&P格付を優先

注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

契約月別の運用実績の例

（一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年）

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-371	1,000	-335	-7.31	-0.95
平成12年 9月 1日	1,000	-379	1,000	-343	-8.68	-1.15
平成12年 10月 1日	1,000	-356	1,000	-321	-6.07	-0.81
平成12年 11月 1日	1,000	-336	1,000	-302	-3.95	-0.52
平成12年 12月 1日	1,000	-314	1,000	-281	-1.50	-0.20
平成13年 1月 1日	1,000	-294	1,000	-262	0.68	0.09
平成13年 2月 1日	1,000	-306	1,000	-273	-1.16	-0.16
平成13年 3月 1日	1,000	-270	1,000	-238	3.06	0.41
平成13年 4月 1日	1,000	-248	1,000	-218	5.38	0.72
平成13年 5月 1日	1,000	-272	1,000	-241	2.02	0.28
平成13年 6月 1日	1,000	-264	1,000	-233	2.65	0.37
平成13年 7月 1日	1,000	-249	1,000	-219	4.07	0.57
平成13年 8月 1日	1,000	-222	1,000	-192	7.14	1.00
平成13年 9月 1日	1,000	-181	1,000	-154	11.74	1.64
平成13年 10月 1日	1,000	-132	1,000	-106	17.45	2.41
平成13年 11月 1日	1,000	-148	1,000	-122	15.04	2.12
平成13年 12月 1日	1,000	-153	1,000	-127	13.98	2.01
平成14年 1月 1日	1,000	-153	1,000	-126	13.62	1.98
平成14年 2月 1日	1,000	-124	1,000	-98	16.73	2.44
平成14年 3月 1日	1,000	-131	1,000	-105	15.43	2.29
平成14年 4月 1日	1,000	-145	1,000	-119	13.33	2.02
平成14年 5月 1日	1,000	-137	1,000	-111	13.82	2.12
平成14年 6月 1日	1,000	-139	1,000	-113	13.17	2.05
平成14年 7月 1日	1,000	-100	1,000	-75	17.55	2.73
平成14年 8月 1日	1,000	-64	1,000	-39	21.63	3.36
平成14年 9月 1日	1,000	-61	1,000	-35	21.63	3.41
平成14年 10月 1日	1,000	-30	1,000	-4	25.08	3.97
平成14年 11月 1日	1,000	-26	1,000	-1	25.07	4.03
平成14年 12月 1日	1,000	-40	1,000	-14	22.90	3.76
平成15年 1月 1日	1,000	-11	1,000	14	26.12	4.31
平成15年 2月 1日	1,000	16	1,000	42	29.14	4.83
平成15年 3月 1日	1,000	23	1,000	50	29.64	4.99

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	28	1,000	55	29.80	5.09
平成15年 5月 1日	1,000	12	1,000	39	27.15	4.76
平成15年 6月 1日	1,000	0	1,000	25	24.97	4.48
平成15年 7月 1日	1,000	-18	1,000	7	22.34	4.12
平成15年 8月 1日	1,000	-27	1,000	-1	20.79	3.92
平成15年 9月 1日	1,000	-34	1,000	-9	19.45	3.75
平成15年 10月 1日	1,000	-35	1,000	-9	18.92	3.71
平成15年 11月 1日	1,000	-44	1,000	-19	17.29	3.48
平成15年 12月 1日	1,000	-39	1,000	-14	17.48	3.58
平成16年 1月 1日	1,000	-49	1,000	-24	15.89	3.33
平成16年 2月 1日	1,000	-59	1,000	-34	14.24	3.06
平成16年 3月 1日	1,000	-69	1,000	-44	12.63	2.78
平成16年 4月 1日	1,000	-81	1,000	-56	10.82	2.45
平成16年 5月 1日	1,000	-78	1,000	-53	10.78	2.49
平成16年 6月 1日	1,000	-66	1,000	-41	11.74	2.76
平成16年 7月 1日	1,000	-76	1,000	-51	10.23	2.46
平成16年 8月 1日	1,000	-57	1,000	-32	12.03	2.94
平成16年 9月 1日	1,000	-55	1,000	-30	11.80	2.95
平成16年 10月 1日	1,000	-53	1,000	-28	11.62	2.98
平成16年 11月 1日	1,000	-48	1,000	-23	11.87	3.11
平成16年 12月 1日	1,000	-57	1,000	-32	10.40	2.80
平成17年 1月 1日	1,000	-69	1,000	-45	8.55	2.37
平成17年 2月 1日	1,000	-67	1,000	-42	8.44	2.40
平成17年 3月 1日	1,000	-78	1,000	-54	6.73	1.97
平成17年 4月 1日	1,000	-76	1,000	-52	6.54	1.97
平成17年 5月 1日	1,000	-59	1,000	-34	8.16	2.51
平成17年 6月 1日	1,000	-67	1,000	-42	6.85	2.17
平成17年 7月 1日	1,000	-76	1,000	-52	5.40	1.77
平成17年 8月 1日	1,000	-85	1,000	-61	4.01	1.36
平成17年 9月 1日	1,000	-89	1,000	-64	3.23	1.13
平成17年 10月 1日	1,000	-116	1,000	-92	-0.20	-0.07
平成17年 11月 1日	1,000	-108	1,000	-84	0.35	0.13
平成17年 12月 1日	1,000	-128	1,000	-127	-2.25	-0.88
平成18年 1月 1日	1,000	-141	1,000	-140	-4.01	-1.62
平成18年 2月 1日	1,000	-150	1,000	-149	-5.35	-2.25

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-142	1,000	-141	-4.85	-2.11
平成18年 4月 1日	1,000	-147	1,000	-146	-5.71	-2.58
平成18年 5月 1日	1,000	-142	1,000	-141	-5.51	-2.58
平成18年 6月 1日	1,000	-108	1,000	-108	-2.27	-1.10
平成18年 7月 1日	1,000	-108	1,000	-108	-2.60	-1.31
平成18年 8月 1日	1,000	-105	1,000	-105	-2.62	-1.37
平成18年 9月 1日	1,000	-119	1,000	-141	-4.50	-2.48
平成18年 10月 1日	1,000	-116	1,000	-136	-4.56	-2.63
平成18年 11月 1日	1,000	-117	1,000	-135	-5.01	-3.04
平成18年 12月 1日	1,000	-115	1,000	-130	-5.14	-3.28
平成19年 1月 1日	1,000	-130	1,000	-142	-6.99	-4.72
平成19年 2月 1日	1,000	-136	1,000	-145	-7.97	-5.69
平成19年 3月 1日	1,000	-134	1,000	-141	-8.14	-6.17
平成19年 4月 1日	1,000	-131	1,000	-135	-8.14	-6.57
平成19年 5月 1日	1,000	-134	1,000	-136	-8.85	-7.63
平成19年 6月 1日	1,000	-140	1,000	-139	-9.73	-9.02
平成19年 7月 1日	1,000	-134	1,000	-134	-9.51	-9.51

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年6月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター